ninoyu satoshi
発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360
平成19年 No.190 3月号

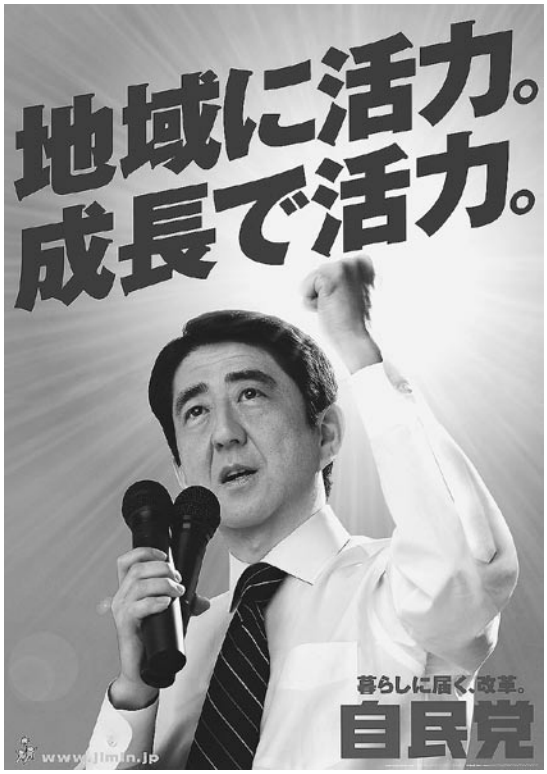
京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

京都政界の大きな転換期
若い候補者が進出、世代交代加速

安倍政権下、初の大型選挙

統一地方選挙が目前に迫ってきた。統一といっても全国自治体の中の約3割しか選挙が実施されない。それでも東京はじめ、13の知事、4つの政令都市の市長、44の道府県会議員、14の政令都市市会議員が選挙の洗礼を受ける。地方の格差、年金、福祉などなど、身近な問題に有権者がどんな審判を下すのか。安倍内閣の下での初めての本格的な選挙であり、夏の参議院選挙を占う意味で、勝敗の結果が非常に注目される。

京都では京都府会議員、京都市会議員が3月30日に告示、4月8日に投票・開票が行なわれる。各陣営とも最後の準備に入っている。自民党では、かつて蜷川共産府政時代に活躍した多くの有力なベテラン議員が勇退、代わって二十、三十代の若い世代がいっせいに出馬の構えを見せている。京都政界にとって、今回の選挙は世代交代、新旧交代の大きな節目でもあり、新しい時代を担う政治家が輩出する絶好の機会でもある。



恒心

★佐田行革大臣の政治資金収支報告書の虚偽記載に端を発した政治と金の問題は従来の事件とは少し様相が違っている。政治家が請託を受け国会で業界に都合の良い質問をして、その見返りに金を受け取る。職務権限を使って入札に便宜を図って謝礼を貰う。つまり不正な政治献金が発覚し、政治スキャンダルに発展した。

★ところが今回の政治管理団体による多額の事務所費の計上は法律に違反はしていないが、事実と違うことが記載されていることが問題にされている。家賃、光熱費が要らない衆参議員会館において、ある政治資金管理団体の事務所費にどうして数千万もの大金が必要なのか。世間やマスコミはそれを批判している。

★規正法では経常経費の中で、事務所の維持に通常必要とされるものは事務所費として支出してよいことになっている。香典、結婚のお祝い、会合の会費など、領収証の貰えないものがたくさんある。事務所費に千万以上計上している政治家は色々と多方面に金を使う必要が多く、それらを事務所費として処理したのであろう

★政治資金が潤沢に集まり、使い道に頭を悩まし、支出の記載を工夫しなければならないとは誠に羨ましいばかりである。しかし多くの政治家は政治資金もあまり集まらず、自らの政治活動を維持するだけで精一杯、まさに青息吐息の状態である。世間一般と同様に政治家の中にも貧富の格差がある。

関西サミット誘致で与野党議員が結集
京都サミットの実現なるか

２００８年に日本で開かれる主要国首脳会議（サミット）の関西への誘致に取り組んでいる、関西サミット誘致与党国会議員協議会が２月21日に参議院議員会館で開かれた。近畿がバラバラでは他の地域に持っていかれる恐れがあるため、近畿は一つになっているという姿勢を見せるためにこの日は与党だけでなく、野党議員にも呼びかけた。まず自民党近畿ブロック両院議員会会長である中山太郎氏が挨拶に立ち、「近畿がバラバラでは他の地域に持っていかれる」と強調した。続いて大阪の冬柴鐵三国土交通大臣は「近畿は一つという気持ちが大事である。近畿の経済力はオランダをしのぐ」と述べ、京都の伊吹文明文部科学大臣は「日本の伝統文化を大切にするのが安倍内閣の方針である。それには近畿しかない」と関西の優越性を力説した。当初、優勢を伝えられていた関西であるが、３月に入って北海道の動きが目立つようになってきた。北海道出身の中川昭一政調会長が北海道の洞爺湖でのサミット誘致を打ち出した。政府は開催候補地の選考を進めているが、近くサミット開催地を決定する方針である。政府がどう判断するのか関西にとって決して楽観できる情勢ではないようだ。自民党近畿ブロック両院協議会では101名（自民党58名・公明党14名、民主党29名）の署名を取って、「２００８年サミットの関西誘致に関する決議」を採択し、中山太郎会長以下、役員が決議文を持って、塩崎恭久内閣官房長官に関西サミット誘致の決議の申し入れを行った。

挨拶する中山太郎会長

モンゴル大統領来日
参議院外交調査会が歓迎パーティ

モンゴル共和国は民主化、市場経済化を採用して以来経済も順調に発展し、しかも金、銅、石炭等の地下資源が豊富に埋蔵しているために資源国家として注目されている。日本企業の進出も増えている。モンゴルといえば大相撲の横綱朝青龍をはじめ多くの力士の出身国として有名であり、日本人にはジンギス・ハーンの名前で馴染み深い。モンゴル国民も日本を「最も親しみを感じる」と答えている。両国の関係は非常に友好的といえる。今年、日本との国交樹立35周年を迎えたモンゴル共和国からエンフバヤル大統領が日本政府の招きで２月26日に来日した。翌27日午後、大統領夫妻は参議院本会議場での歓迎会に姿を見せ、多くの衆参両議員の前で、モンゴル大統領として初の国会演説を行なった。大統領は「近くて遠い国であったモンゴルと日本が親密になり、両国の友好協力関係が地域の平和と繁栄のために一層拡大し、発展していくと確信している」とのべた。３月１日には参議院外交調査会（矢野哲朗会長）の主催の歓迎パーティが開かれた。日本相撲協会の北の潮理事長、外務省、経済産業省、厚生労働省の各次官をはじめ参議院外交調査会の12名、そしてモンゴル共和国と関係の深い人達約100人が参加した。矢野会長は歓迎の挨拶で「昨年わが国から国会議員が83名モンゴルを訪れた。外交調査会からも11名が訪問した。貴国の経済発展と国民の健康生活を考えるならば、わが国として各分野にわたって貢献できる。両国のルーツは一つと思う。貴国の発展は日本の喜びでもある。」と述べ、続いてエンフバヤル大統領が「両国は長い歴史を持った関係です。両国の関係は益々発展させねばなりません。政治、経済、文化、スポーツの分野で関係が深まることを希望します。」と挨拶した。パーティは終始和やかに進み、大統領夫妻も最後まで出席者と懇談、実り多い会であった。

両国の友好関係を誓う
二ノ湯議員と大統領

会員募集のお願い

皆様の温かいご協力のお蔭で、多くの方々が入会して下さいました。後援会活動もいよいよ最後の段階です。あと一押し、後援会の輪を広めて下さい。

二ノ湯しんじ事務所
〒616-8167 京都市右京区太秦多藪町44-1
（太秦・大映通り）
TEL 075-862-1355　FAX 075-862-1350

二ノ湯しんじ事務所出陣式のお知らせ

二ノ湯しんじ事務所では下記の通り出陣式を行いますので、ご連絡いたします。

☆と　き　**3月30日㈮　午前9時**
☆ところ　**二ノ湯しんじ事務所**（太秦大映通り）
☆電　話　**075-862-1355**
☆ＦＡＸ　**075-862-1350**

※なお、駐車場がございませんので公共輸送機関をご利用ください。

関西文化学研都市建設促進議員連盟総会

会長に谷垣氏、事務局次長に二ノ湯氏

京都・大阪・奈良の3府県にまたがる広大な京阪奈丘陵における関西文化学術研究都市は東の筑波学術研究都市が官主導に対し、民間の活力を生かした研究都市作りである。当初、計画は順調に進んでいたが、バブルの崩壊、東京への経済集中で厳しい現実に直面しているのが事実である。

この学研都市建設の早期実現を強力に推進することを目的として設立された「関西文化学術研究都市建設促進議員連盟」は二代目会長の奥野誠亮氏が政界を引退したために空席のままであった。この際、新しい会長を選任して学研都市の建設促進を図るべきだとの声が挙がり、2月9日、議連の総会を開き、新会長に谷垣禎一氏を選任、幹事長に北川知克氏、事務局長に奥野信亮氏、事務局次長に北川イッセイ氏、二ノ湯智氏が会長より指名された。新しく会長に選ばれた谷垣氏は「学研都市は関西の古い歴史と文化を生かして技術革新を進めてきたが、まだまだ充実させなければならない。技術の成果を地元の関西地域と日本の技術革新につなげて生きたい」と語った。

挨拶する新会長に就任した谷垣氏

がんばる、二ノ湯しんじ君 朝、夕街頭に立ち訴える

政治家を志す人は、信念を貫く強い意思を持ち、有権者に自らの政策を訴えることが必要である。そのためには街頭に立って演説するのも、政治家がするべき行動の一つである。二ノ湯君は朝、夕街頭に出てマイクを握って自分の考えを述べている。寒い中での街頭の辻説法は、つらいものであるが、これも政治家を志す人の通るべき道である。

政策を訴えるニノ湯しんじ君

二ノ湯しんじ君の一面 強い精神力と強靭な体力

日本三代の荒行の一つ大峰山修行。世の中の平和と人々の幸せを願う奥駈(おくがけ)修行は吉野を出発し、熊野那智大社まで6泊7日の日程で約200km以上を歩き、途中大峰山、玉置神社、熊野本宮大社と言った聖地を通るコース。道なき道、つまりけもの道のような道を歩く。電気、水道、風呂もない雨露をしのぐだけの山小屋に泊まって、毎日ただひたすら歩き続けるだけの修行。大学時代、二ノ湯しんじ君は兄とともに二年間連続して成し遂げました。

6泊7日の奥駈修業を終えて

参議院二十日会 十日町雪まつり見学

雪まつりと言えば札幌が大変有名であるが、発祥の地は新潟県の十日町である。昭和25年に発足した雪まつりは今年で58回目を数える。十日町は上越新幹線の越後湯沢駅から車で約40分のところにある。2月17～18日、平成17年夏に当選した自民党参議院議員の同期生の集まりである「二十日会」の一行11名が十日町を訪れた。一行はラポール十日町で開かれた市主催歓迎レセプションに臨んだ。レセプションには十日町と姉妹都市であるイタリア・コモ市の市長夫妻をはじめ、約200人が参加し盛大に開催された。昨年この地方は豪雪に泣き、今年は記録的な少雪と二年続きの異常気象。「雪まつり」の開催が危ぶまれたが、地元の雪まつり実行委員会の強い熱意でダンプカー千台分の雪を確保してなんとか雪像が完成した。市内の各会場に展示された65個の雪の芸術作品は、かき集めた雪のために泥が混じっており、純白の雪像とはほど遠く、泥まみれの像である。それでも多くの観光客が見学に訪れており、地元の方々も雪まつりの成功のために総出で観光客を親切にもてなし、非常に温かい雰囲気であった。どの町も地域の活性化のために必死に努力している。黙っていてもたくさんの観光客が訪れる観光都市・京都の人間にはとても考えられない。

雪でできた大聖堂を背景に(城ヶ丘ピュアランド)

二ノ湯さとし 国政報告会のご案内

とき　3月22日(木)
午後8時

ところ　比賀江公民館
(右京区京北比賀江町)

多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

歩くことは健康の基本

第168回 みんなで歩こう湯歩会（参加者130名）

京都競馬場にて

第169回 みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：**3月25日**(日)（小雨決行）
・出発時刻：午前8時30分（時間厳守）
・集合場所：南座前
（注）伏見稲荷大社本殿大鳥居前9時出発
・コース：伏見稲荷大社大鳥居前→本殿→奥ノ院→疏水沿い（一部桜並木）→新十条通り換気所→トンネル内中央ゲート→疏水沿い→伏見稲荷駅解散

● 今回は、伏見稲荷に参拝の後、新十条通りを山科、東山、伏見を貫いたトンネル内の特別見学です。開通後に歩くことは出来ません。一般では行くことの出来ないこの機会に是非ご参加下さい。観光都市・京都の道路がどのように変化していくのか、ゆっくり、現地での概要説明を聞きながら体験して下さい。

● 代表世話人　北村好司郎　☎075-313-8758
（当日）090-1956-7460

二ノ湯議員、税務相談会場視察

平成19年の所得税確定申告が2月16日から始まった。納税は国民の重要な義務であるが、税務申告はなかなか厄介な作業である。京都府税理士会では、毎年、会員有志が府下各地で無料の税務相談会場を開き、府・市民の税務相談に応じている。三年前の選挙で、二ノ湯参議院議員は近畿税理士政治連盟の推薦候補として支援を頂いた。当選後も地元で「税理士による二ノ湯智後援会（南出力利会長）」を結成していただき、引き続き、力強い支持・支援をもらっている。東京では税理士制度改革推進議員連盟に加入し、国民のための税理士制度の実現に努力している。そんな関係もあり、毎年、視察、激励訪問を欠かさず続けている。今年も2月26日、前田副会長・今西幹事長らと共に、西京区役所洛西支所、京都市北文化会館の二ヶ所の相談会場を訪ね、納税者の税務相談に熱心に取り組んでいる税理士の方々を激励した。

南出会長より要望書を受け取る二ノ湯議員

身辺雑記

一、冬がないままに春がやってきた。国会周辺も春のような感じである。憲政記念館の庭園にある彼岸桜が3月の初めにすでに満開になっていた。

一、私の友人である比叡山麓三宝莚住職栢木寛照氏が、毎年2月、雪を見せてあげたいとサイパンの青少年を日本に招待している。しかし、今年のように雪が降らないと、せっかくの尊い計画も無駄になってしまう。

一、野球のシーズンが始まった。イチロー、松井に続いて、今年は松坂が話題の中心になる。日本のプロ野球もキビキビとしたスピードのあるプレーをしないと大リーグに人気をさらわれてしまう。

一、希望枠で優先的に獲得しようと社会人と大学の選手に裏金を渡していたことが明らかになった。スポーツはルールが大事。グランドだけでなく、選手獲得の規則も厳守しなければならない。公正さが維持できなければファンは益々遠ざかる。

一、一昨年12月、宇治市の学習塾「京進宇治神明校」で小学校6年生、堀本沙也乃さんが塾講師に殺害された事件は記憶に新しい。先日京都地裁で懲役18年の刑が言い渡された。人の命が余りにも軽いと父親が悔しい気持ちを述べていたが、私も全く同感である。

一、拉致問題の解決なくして国交正常化なし、と日本が強い姿勢で望む日朝国交正常化交渉がベトナムのハノイで始まった。またしても北朝鮮に振り回され、協議は物別れに終わった。日本の我慢も限界である。

一、出る、出ないと人騒がせな浅野前宮城県知事。じらした挙句（あげく）やっと出馬を表明した。首都東京の知事選挙。統一地方選挙を盛り上げるためにも、熱い戦いを繰り広げてもらいたい。

一、焼き芋は私の好物の一つ。鹿児島県出身の参議院議員から種子島の芋をもらった。当地でとれる芋を焼いて、それを冷凍パックしてある。レンジで温めて食べると最高に美味しい。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい
年間購読料　1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228